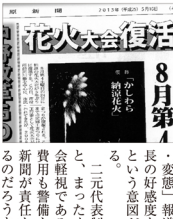
5月10日号の柏原新聞にものもの申す！

なぜこんな記事を掲載するのか？

「まだ、決まってもいない花火大会」「不正を見つけられない監査員の擁護」

花火大会　市長の人気取り!?

議員が開催を知らなかった



先日、市民の方から電話があった。柏原新聞（ダイジェスト）5月10日号に「花火大会復活」「8月第4土曜日の24日」と大見出しで出ていたが、市会議員が知らないと言っているという内容だった。

花火大会を開くには議会を開いて補正予算を計上しなければならない。まだ、案件として議会にもかけられていなかったのだ。

掲載内容は、以下のとおりである。「（中略）…市長も新しく中野隆司さんとなり、柏原市活性化の核はと考えた末、花火大会で人を呼び込もうということに一致。」。この「一致」とは、誰がどこでどう一致したかの部分が全く抜けている。

続いて「まず、安全第一。安全に打ち上げるのには、どうすればいいのか、とことん話し合った。警備の専門チームの意見なども参考に、市民が皆さんに喜んでもらえる花火大会にしたい」と中野市長……」。「とことん話し合った」とは、誰と誰が話し合ったのか？予算が出ていない時点で、先に警備の専門チームと、とことん話し合えるわけがない。明らかに、花火大会の復活で、「セクハラ」・愛憎「報道」中野市長の好感度を上げようという意図が見てとれる。

二元代表制を考えると、まったくもって議会軽視である。花火の費用も警備も全て柏原新聞が責任を持ってするのだろうか？

役目を果たさない監査委員は再任すべきでない

〈監査できない人間に監査委員は務まらない〉

また、監査委員の再任についても、信じられない見解を表明している。柏原市の事業や税務調査をするのが仕事である。それにはそれなりの人格と教養が要求される。

今回、議会が西上監査委員の再任を「ノー」と拒否したのはワケがある。西上委員は、市民も足を運ばないような「竜田古道の里山公園」で、整備事業を委託している NPO法人「柏原ふる里づくりの会」との契約委託料の概算払い、見積もりなしで、使った分だけ払っていて「セクハラ」一般会計決算の不認定とされるなど監査をきちんと行っていない。

平成20年9月、柏原市に談合で大阪地検の捜査が入ったとして、見抜けなかったとして、費用も警備も全て柏原新聞が責任を持ってするのだろうか？

〈柏原市議の政務調査費は年間48万円、府議は600万円〉

柏原市議には報酬以外に、調査や研究のための費用、政務調査費が支払われる。その費用は年間48万円である。

柏原新聞には西上監査委員が「議員の政務調査費を調べようとしたためだ。議会から再任を拒否された」とある。これは記憶に新しい。

正式に決まってもいない花火大会の記事を掲載し、「監査できない監査委員」を擁護する「新聞」とは？その「低」について問えば、「まず、安全第一。安全に打ち上げるのには、どうすればいいのか、とことん話し合った」と言っている。

しかし、9月の市会議員選挙に自民党公認として出馬するらしいが、これは事実なのであろうか。

どの党であれ、責任感のない人物が出馬するなど言語同断である。こんな人物が自民党支部長であることが信じられない。

員という仕事は大切な役目なのである。

監査委員には毎月12万円という報酬が支払われている。不正を見つけられなければ、会計士に頼んだほうがよほど安い。

9月の市会議員選挙に出馬!?

自民党の柏原支部長が出馬!?

他党を応援している無責任な支部長　そんな人物が自民公認で出馬するのか？

大阪府議であった現・中野市長が柏原市長選に出馬し、大阪府議の補欠選挙が行われ、大阪維新の会の中谷恭典氏が初当選したことは記憶に新しい。

平成19年府会議員選挙で、その当時現職であった I氏を自民党の一部は卑劣な行為で公認せず、寺田氏を公認し I氏を辞退させたが、結果、寺田氏は、選挙中に辞めたのである。そのため民主党公認の中野氏が府議に当選した。今回の市長選においても、今年の1月8日に寺田氏は自民党推薦を受け、出馬する予定だった。しかし、またまた、急遽辞退したのである。

中野自民党支部長は、このような議員を府連に「自民党推薦」とし、「自民党支部長」であることが信じられない。

他党を応援する支部長とは、信じがたい。自民党の大阪市会議員も自民党公認の山下亜紀子氏を当選させることができなかった責任を取って辞任すべきであると言っている。

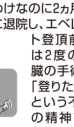
いたらしいのだ。他党を応援する支部長とは、信じがたい。自民党の大阪市会議員も自民党公認の山下亜紀子氏を当選させることができなかった責任を取って辞任すべきであると言っている。

はまうら佳子の元気が出るコラム

80歳パワーに脱帽

前回、94歳の男性が衆議院選挙に立候補したという記事をご紹介しましたが、つい先日もスキーヤーの三浦裕一郎さんが80歳でエベレスト登頂に成功されましたね。おそるべし、シルバーパワーです。

70歳、75歳について今回の登頂は3回目だそうです。1回の成功でもすごい話なのに、また挑戦するというその力はどこから湧いてくるのでしょうか。「80歳でもまだまだいける」とおしゃっていましたが、「まだまだいける」ということは、これからも挑戦される気力がおありなのかもしれませんね。



ただし、ずっと順風満帆ではなかったようです。76歳で骨盤と大たい骨を骨折して全治6カ月という大けがをされたときもありました。その年齢で「大たい骨骨折」であれば、「寝たきり」になる可能性もあったわけなのに2か月半後に退院し、エベレスト登頂前には2度の心臓の手術と、「登りたい」という不屈の精神で、いろいろと困難を乗り越えられています。

人間は「やりたい」という気持ちがあれば、幾つになっても挑戦できるもんなんだなと改めて思いました。

私も、その「不屈の精神」を見習って、めげずにこれからもがんばろうーっと。

かしわら市民のための
なんでも相談室開設

セクハラ
体　罰
いじめ
虐　待
ＤＶ

なんでも相談室にご連絡を

複数の有能な弁護士が無料でご相談に応じます。未成年の方でも気軽にお電話ください。

電話
072-978-1352
月～金（祝日をのぞく）
10:00～16:00